



NIPPON BEARING

6月18日付 日本経済新聞広告 解答と解説

【問題】 現在普及率0.5%の電気自動車（EV）、2030年には〇〇%！

15 ② 10 ③ 30

【答え】 ③ 30%

【解説】

自動車誕生以来、ガソリン車が牽引してきたモータリゼーションが、今、変わろうとしています。

自動車の普及により、20世紀の世の中は大きく変わりました。

好きな場所&時間に移動できる自由・産業の発展・経済成長、他にも多くの恩恵を受けてきましたが、その反面、交通量増加による渋滞や事故・排気ガスなど環境への影響等、様々な弊害も生まれました。

21世紀、自動車の変革により産業構造が大きく変革すると言われています。

CASE（Connected：つながる Autonomous：自動化 Shared & Service:シェア&サービス Electric：電動化）と呼ばれる未来の潮流により、新たな領域での技術革新が進み、産業構造が大きく変わると考えられます。

EV普及率は0.55%（電気自動車全体：EV/PHV/FCVの普及率1.35%、2017年度）ですが、2030年には電気自動車全体で20～33%まで普及する目標が立てられています。一方で、二酸化炭素排出削減のため、2050年までにガソリン車をゼロにする目標を掲げて、取り組んでいる国や企業も数多くあります。

今後、電気自動車の普及に伴い、自動車業界への新たな業種の参入も期待できます。

これまでに無い、新しい自動車の時代が到来することでしょう。

【企画・協力：(株)学研エデュケーショナル】